

平成28年度 第2回 北九州市公共事業評価に関する検討会議

日 時：平成28年12月15日（木）

10：30～12：00

場 所：北九州市役所本庁舎

3階 特別会議室B

1 八幡西消防署移転新築事業について

～事業課より資料2に基づき説明～

2 内部評価結果について

～事務局より資料4に基づき説明～

3 質疑応答について

（座 長）

ありがとうございます。

それでは委員の皆様から、事業課及び事務局からの説明につきましてご意見、ご質問等あればお願いしたいと思います。

（構成員）

ご説明の中にもありましたが、市民の安心、安全の一端を担う消防事業における八幡西消防署の現状については、業務をスムーズに行う上で、施設面で困難をきたす点が多く見られるということがよくわかりました。また、老朽化による劣化や、耐震性の不足から建て替え以外の選択肢は採れないということもよくわかりました。今回の事業につきましては、ご提案のとおりに進めることが合理的だと思っております。

先程視察の際に、50年経つ中で環境や社会の変化などに対応して増築を重ねており、具体的には、行政区の再編により分署から消防署になったという経緯から、狭隘化などの問題があったとうかがいました。50年前と比べるとそういうことになりましたが、そうすると、今後はこの建物は50年後ももっと使えるものになっているのかと感じるころがあります。もちろん、50年後の社会は私たちが想像できないところも多々あると思いますが、ただ1つ人口が減っていくことは分かっています。そうした中、消防事業においては、高齢化の進展もあり、事務事業が増えているということですが、建物の今後の使い方について柔軟な発想を持っておくことが大切ではないかと思います。PFIなど色々検討をした結果、消防機能に特化するということですが、今後、様々な事態を想定して、様々な対応を考えていけるような発想だけは持っていただきたいと思っております。

もう1点は重要などころではないですが、マンションとの複合化を検討した際に、「収益が出ない」という話がありました。説明はよく分かりますが、それならば収益が出るように販売価格を設定するべきではないかと。収益が出るように販売価格を設定すると、その地域の他の分譲マンションより高くなってきて、完売できるかどうか分からないため、収益が出ない、という方が分かりやすいのかなと思われました。

(座 長)

2点ご指摘がありました。何かコメントはありますか。1点目は、これから設計に入っていく中で、あまり余裕のない機能で設計すると、過去と同じように増築を繰り返すこととなりますので、余裕のある建て方をしていく方が将来的に対応しやすいのではないかと思います。柔軟な発想をぜひということです。2点目は、マンションの販売価格が妥当なのかというようなことですが、いかがでしょうか。

(事業課)

販売価格の設定は、周辺に分譲マンションの販売価格を参考としておりまして、収益が出るほどの値段をつけた場合、供給を満たすほどの需要がないのではないかと思いますので、平均的な販売価格であまり高くないように設定したところです。

(構成員)

マンションは老朽化して必ず建て替えなり色々なことをするが、分譲の場合には合意形成が難しい。その合意形成が難しいから消防署の修理ができないということになってはいけない。マンションと合築する時には、通常、20年目から30年目でマンションの修理が必要になる。そういうスパンで良いのか。むしろマンションではなく、賃貸などを例として出した方がよいのではないかと。

もう1つ、消防署と同じ構造で耐震をするからコストは高くなるが、空間的、構造的に縁を切るやり方もあります。それが安くなるかと言われると高くなるだろうが、一体的に見えているけれど構造的には別の建物というやり方もあると思う。

(座 長)

いかがでしょうか。

(事業課)

私たちが専門家ではありませんので、そういった意味ではそのとおりでと思います。

(構成員)

集合住宅系との再築はすごく難しいです。それに公共施設が併設しているということで、本当に災害対策として大丈夫なのかということは整理した方がよいと思います。

(構成員)

もう1点、今の話に関連しますが、説明用資料の21ページにあるPFI等の導入検討について、色々なことを検討された結果だと思います。先程ご意見があったように、マンションとの合築など将来的なことを考えると望ましくないと、そういうことを全て検討されたということはすごく大切なことで、色々な場面で説明をする上で、マンションはどうか、ホテルもあるじゃないかという話はどこか出てくると思います。十分に検討した結果が書いてあるのだと思います。

(座 長)

他の意見はいかがでしょうか。

(構成員)

ホテルやマンションとの合築という話がありましたが、災害が起こった時に住民が避難できるようなスペースを消防署の上に設けるか、そういうことを考えてもらっても面白かったと思います。実際、敷地の背後が全部住宅地になっていますので、何かの時に市民の方が避難できる場所というのも考えていただければよかったですかなと思いました。説明用資料の26ページの八幡西消防署の延床面積に関して、もう少し広くてもよかったのではないかと思います。予算等のこともありますので、無理だろうとは思いましたが、それならば市民が避難できる場所として少しスペースをとっていただければありがたいと思います。また、消防車の出動経路について2mほど道路を広くするということでしたが、実際行って見ると、2mでも大丈夫なのか、大きな火事があって消防車両が次々に出て行く時に詰まりそうな感じもしました。本当に2mで足りるのか、もう少し広くした方がいいのか、具体的に検討した方がよいのではないかと感じました。

(座長)

今3点ありました。避難場所としての機能はいかがか。それと併せて場所を確保することで建物の面積に少し余裕をもたせるのはいかがでしょうか。それと出動経路の接続は2mで妥当か、そのあたりはいかがでしょうか。

(事業課)

住民の避難場所の確保は非常に重要ですが、市全体としては、市民センターや区役所など、避難をしてある程度快適に過ごしていただく施設があり、そういう施設を避難場所として確保すべきでないかと考えております。消防の場合は出動したり、大きな災害になれば他都市から応援の職員や車両・資器材が集まりますので、特に拠点と考えている八幡西消防署では、かなり混雑する状況が想像されます。一般市民が避難していると、かえって危険な状況も考えられますので、消防署はあくまでも消防活動のための拠点ということで、避難場所という想定はしていませんでした。

(構成員)

大きな災害が起こった時に、他都市から応援が来るということなら、その方たちが泊まったり、荷物を収納するためにスペースがいるということになりますよね。

(事業課)

事務室の横に大きな会議室を設けたり、パーテーションを開放して作戦本部を設置できるような形にしたりして、拡張的な機能をもたせたいと思っています。応援の方々の宿泊は屋外にテントを設置します。熊本地震で我々も応援に行っていますが、テントを張って宿営していました。

(構成員)

テントを張るようなスペースがあるということですか。

(事業課)

今後、市全体の方針の中で決まっていますが、もし、隣地が空き地のままであればそういう活用もできると思っています。大規模な応援があった場合、到底このスペースでは収容できませんので、それは別途考える必要があります。基本的に小倉北区の訓練セン

ターを集合場所にしていますが、今回の熊本地震を見てもあの程度のスペースではおそらく足りません。東部が訓練センターであれば、西部にもしかるべき用地が必要だと思っております。そこで宿営をしながら支援活動という形になります。

(座長)

敷地面積の話が出ましたが、建物ではなく消防車など物の機能の高度化、大型化というのは今後の可能性としてあるかと思いますが、対応できるよう想定されていますか。

(事業課)

消防車両につきましては、ベースとなる大型トラックの規格がありますので、今より大きくなるということはないと考えております。ただ、小倉北消防署では当初救急隊1隊だったのを救急出動が多いことから1隊増隊したという実績もありますので、その程度の隊の増隊など、拡張するスペースは確保しております。

(座長)

他はいかがでしょうか。

(構成員)

関連して、防災倉庫や資機材倉庫が大きくなっていますが、このサイズで良いのか。もう少し大きめにする必要がないのかなど、そのあたりはどうでしょうか。もう少し大きめにすれば良いと思っております。

(事業課)

確かに広いに越したことはないですが、予算との兼ね合いもありますし、基本的には小倉北消防署で使っているサイズです。今日バスを停めた場所の後ろにあった古い建て屋が倉庫です。今は、非常に暗く使い勝手が悪いのですが、移転後はあの程度の量は入りますし、使い勝手はかなり良くなると思っております。

(座長)

あとは書庫ですね。書庫をきちんと確保するというのと、併せて電子化を進めていく必要があるのではないかと。

(事業課)

OAフロアにしたり、そのあたりは現代的な消防署になっていくと思います。

(座長)

電子機器で図面を見ながら現地に対応する、そういう形に変えていかないと収納スペースがかさばる一方ですよね。そこも改善の余地があると思います。

他はいかがでしょうか。

(構成員)

現在と50年前の消防機能はかなり変わってきていると思います。人口の増減もあると思いますが、八幡西区は他の区に比べて高齢化が進んでいるような気がします。もしかしたら救急車がもう1台必要になるのでは、といったことが考えられると思います。また、建

物は性能もよくなって、意外と火事が少なくなったのかなと思っておりませんが、出動件数の統計は確認されていますか。

(事業課)

救急については、今の見込みとしては高齢化に伴って2025年頃までは増加を続けるというデータがあります。その後も急に減るわけではなく、出動件数が高い水準で続いていく形です。人口は減りますが高齢者の人数は多いままです。

(構成員)

救急車がもう1台増えるのではないかと。

(事業課)

そこを踏まえて拡張というか、隊を置く程度の増築余地はあります。

(座長)

小倉北区は救急隊を1隊増やしましたが、それで満杯状態になっているのですか。

(事業課)

今はそうです。

(構成員)

赤い消防車が救急で出動していることがあると思うのですが、消防車が救急で出動することがありますか。

(事業課)

重篤な患者さんだと最初の指令で分かっている場合は、救急車と同時に消防隊も一緒に出動します。人手が要りますので、消防車も補助という役割で行くこともあります。あるいは、救急車はその近くにいない場合など、心肺停止の患者さんだと分かった場合などは消防隊が先に行きます。消防士も救急の資格は持っていますので、救急隊が来るまでは最適な救急活動を行い、少しでも命が助かるように活動しております。

(構成員)

もう1点、他の使い方を考えてみるという話がありました。例えば、警察署は最上階が柔剣道場になっていたりしますが、そういう体育館のようなことができるような、地域の人にも開放できるような、応援に来た人が仮眠できるような、そんな広いスペースでも良いかなと。

(事業課)

実際の計画でも3階に、屋内訓練場兼講堂のような広い体育館のようなスペースはあります。地域に対しては、応急手当の講習会などを開催できるように考えております。

(座長)

他はいかがでしょう。

(構成員)

論点は概ね出つくしたものと思います。拠点消防署の意義や必要性については言うまでもなく、地震などで消防士が活躍しないといけない時に活躍できないのは問題です。喫緊の課題なので、早く建て替えに着手しなければいけないと感じています。近隣に土地を追加費用なしに取得できていることは好都合です。消防署ではこれから人材確保などが大変になるかもしれませんので、居住空間などが現代的な仕様になるのはよいことだと思います。居住スペースは、むしろ今までが狭すぎるという状況で、1.5 倍になったから広すぎるといえることはないように思います。

次に、PFIやマンションの件も、北九州市が課題を解決するために必要なものをつくれればよいと思っています。八幡西区でホテルやマンションなどが足りないということであればつくればよいと思いますが、現状、北九州市がわざわざマンションやホテルをつくる理由自体がそもそも乏しいのではないかと感じています。もしつくるのであれば消防機能と救急機能にプラスαすることで、双方にとって効果が増すものをつくれればよいのではないかと思います。儲かるのであればマンションをつくる、というのは市の事業としては意義に乏しいのではないかと思います。

最後に、早く進めないといけない喫緊の課題ということでしたので、私は設計の専門家ではないですが、すでに小倉北消防署や門司消防署を新築しています。既存の消防署を新しくするプロジェクトは全国的に存在し、消防署の設計には共通のスペックがあるのではないかと、必要なものは大体どこの消防署も同じではないかと感じています。今回の設計期間の中で他の事例を参考にしながら1か月でも2か月でも前倒しできるとよいと感じました。

(座長)

スペックの話が出ましたが、説明資料の29ページに小倉北消防署等と比較した表があって解体費用や建築材料など、消費税の増税、こういった要因があって、他署と比較するとかなり高くなるという具体的なデータをあげられております。逆にこういった要因を除いていくと、概ね小倉北消防署と同じくらいの建設コストで済むのか。そのあたりいかがでしょうか。スペックとしては共通項があると思いますが。

(構成員)

門司消防署は逆に高いような感じがします。

(座長)

そのあたりいかがでしょうか。基本的な設計、構造は。

(事業課)

確かに基本的な形は同じです。ただ、門司署は現地建て替えのため、仮移転をしています。仮庁舎のレンタル料なども入っていますので、他署より少し高くなっています。2年ほど仮庁舎をレンタルして、現地で建て替えを行っています。

今回の八幡西消防署では、新庁舎の完成まで今の庁舎を使えますから、仮庁舎などの費用がかかっていません。門司消防署の場合はそういう特殊なコストがかかっています。

(座長)

小倉北消防署は移転ですか。

(事業課)

小倉北消防署も移転です。

(座長)

移転ですか。だからコストが安く済んでいるのですね。あとは時期的な問題で、まだ残っている建て替えがあれば早目に進めた方がいいかもしれませんね。

(事業課)

消防署でいえば小倉南消防署だけですが、これは耐震補強で長寿命化することができるため、今年度に耐震補強を行いました。まだしばらくは現状のままだと思います。

(構成員)

2つほどあります。1つは小さい話ですが、小倉北消防署を見た時に、職員の車が駐車場でギチギチに並んでいてあまり良くないと思った。職員用の駐車場はスペース的にどのように考えているのか気になりました。

(事業課)

基本的には公共交通機関を使うというのが原則です。庁舎の敷地に余裕があって業務に支障が生じない場合は、職員が駐車場として使用しています。小倉北消防署については、狭いスペースですが確保をしております。

(構成員)

夜勤などになると公共交通機関が動いていないので車で行くしかない。その時にどのくらいの割合で車が必要なのか。小倉北消防署では誰かが動かさないと車を動かさない。我慢すれば良いかというのもあるけれど、あまり良くないと感じました。今回の建て替えでは、職員の駐車場をどのようにするのかを考えておいた方が良いと思いました。これは要望です。

それともう1つ教えていただきたいのですが、八幡西消防署の現状を見た時に、必要最低限の修理もできていないのではないかと感じてしまいます。そうした時に、今回は建設費の話になっている。維持管理費、修繕費は入っていますか。さらに言うと、事業費が千円単位まで出ていますが、PFI等の調査費はどのように計上されているか。単に建設費だけで評価してよろしいでしょうか。これは北九州市の事業評価そのものに対する質問になります。八幡西消防署を見て、適切な時期に適切な修理をしておけばもう少し環境が良くなっていたのではないかという気がした。新しい庁舎はこれから50年間使うかもしれないので、修繕費などの費用はむしろ入れ込んでおかなければならないと思います。そのあたりを教えていただきたい。

(座長)

2点ありましたけど、1点目の駐車場の話はよろしいですか。2点目はどうでしょうか。

(事業課)

市の方針として長寿命化ということを考えておまして、できるだけ建物を長く使う。そのためには少し前倒しで必要な補修を適時行う、そして建物全体の寿命を延ばすというスタンスでやっております。基本的には消防施設もそういうスタンスで建築部門と協議し

ていこうと思いますが、今回の事業費の中に維持補修費は入っておりません。あくまでも初期経費だけです。ランニングコストは別です。

(構成員)

そこをもう少し考えないといけない。今の環境は、もう少し修理費があればどうにかなったところもあるのではないかと。こういう状況になるまでに、できることはあったのではという気もする。ライフサイクルのコストとしての評価は必要なのではないでしょうか。

(座長)

予備調査費についてはいかがでしょうか。

(事業課)

PFIについて、実は小倉北消防署の時には民間のシンクタンクに委託をして調査をしてもらいました。今回はその時の実績と内閣府の簡易計算表でのVFMも提示するという事で、そこまでのコストはかけなくても良いのではないかと判断をしております。

(座長)

それは自前で行なったということですか。

(事業課)

そうです。

(構成員)

小倉北消防署の時、調査費はどうでしたか。事業費の外ですか。

(事業課)

そうです。入っていません。

(構成員)

ライフサイクルや、調査費も含めてコストですから。建設費だけではなく、もう少し考え方があるのかなと感じています。

(事務局)

おっしゃるとおりでこの事業は建てて終わりという事業ではありませんので、運営期間を見積もって、その中で全体の事業としてどう考えるかというところをもう少し検討して、そうした項目を入れるかどうかを事務局側で検討したいと思います。

(座長)

おそらく今回の件だけでなく今後の問題になってきますので、検討をお願いします。今回の会議では初期投資がメインだというのはそのとおりだと思います。今後検討をお願いします。

(構成員)

建て替え事業に関係することではありませんが、災害時に色々な所から応援があるとい

う話を聞いた中で、八幡西消防署が教育センターと公園に囲まれているということでしたが、その立地そのものも利点になりますか。

(事業課)

緊急消防援助隊という制度が消防にはあります。これは阪神淡路大震災を契機として全国的に組織されたものです。東日本大震災、熊本の震災にも全国から消防が駆けつけました。その際、一番必要になるのが建物よりも広い土地です。ここに台数の多い消防車や、トイレがあって、宿営をする職員のための敷地、その隣にある公園、トイレなど水が出る施設としての教育センター、消防署、こういったものが全国から応援にくる緊急消防援助隊のための敷地として有効に活用でき、非常に恵まれた立地であると思っております。

(構成員)

他でも色々と公共施設に関わっておりますが、建て替えの時期を迎える建物が数多くあります。更新時期を迎えると潰したり、売却したりという様々な選択肢が出てきます。最近では公共施設総合管理計画に基づいて公共施設のマネジメントを行っておりますのであまり問題にならないことと思っております。「消防署が教育センターなどに囲まれている場所に立地することによって利便性が上がる」というご回答でしたが、教育センターは36年経過しています。過去にあるプールが45年、いこいの家が43年、こういった施設の更新時期に施設単体で話を進められてしまうと、消防署がここにあるということと、さらにこういった公共施設があるということが大きなメリットだということを、どこかで残しておかないと分からなくなる。公共施設をたくさん残してと言っているわけではないですが、分散して議論をすると全ての関係者にとって望ましい結果ではなくなることが、他の所でも経験しています。今回の建て替えの話とは違いますが、建て替えの場所にすることで他の施設も活用できる、という意見があったことを記録として残しておいてほしいと感じました。

(事務局)

公共事業評価の事務局ではなく、公共施設のマネジメントを担当する部署としては、各局がバラバラに取り組むのではなく、そこに1本横串を通して、全体的な配置として、今回の場合は消防署をここに立地する時に教育センターが横にある、というメリットがあったということを残しておいて、教育センターの更新時にはそのことを踏まえたマネジメントを行っていきたいと思います。

(座長)

相性の良い公共施設ってありますよね。相互関連を見ながら整備していくのは大事です。空いているからといって、やみくもに色々なものを建てるのではなく、緊急時にも配慮しながら周辺のマネジメントを行っていく。

結論めいた話になってきていますが、他にございますか。

(構成員)

個室の話ですが、個室が本当にこれだけ必要なのか。イメージは素晴らしいが、新しく建て替えた場合には全国の消防署がこのような個室になっているのでしょうか。いびきやプライバシーという説明をしていただいて「そうだな」と感じましたし、理想的ではありますが、少し引いて考えてみると、仮眠室なのに全てを個室にする必要があるのか、という素朴な疑問があります。気持ちとしては個室が良いと思っておりますが、全国的な流れが

どうなのかと思い、質問させていただきました。

(事業課)

全国的な流れは基本的には個室化です。執務環境という面もありますし、もう1つは女性の活躍するエリアという分野を広げていきたい。現場にも女性を配置していきたいということで、トイレ、仮眠室、お風呂あたりは全て女性と分けないといけない。実は、北九州市は消防吏員の比率が4.4%で、政令市の中でトップです。昭和62年に女性消防吏員の採用を始めまして、先進的なことをやってきていまして、色々な部分で女性が活躍できると思っていますので、まずはそのためのハード系の条件を整えていきたいという気持ちもあります。そういう意味で執務環境の整備、女性の活躍という2つの視点でできれば個室化を進めていきたいと思っております。執務環境は特にそうですが、我慢すればよいじゃないかという判断も当然あると思います。いびきという話もありましたが、空調などで寒がる人、暑がる人がいて、複数人が1つの部屋に入ると調整が非常に難しいという声も聞きますので、そういったことは改善していきたいと思っております。

(座長)

リクルートというか人材確保の点でもある程度必要ですね。若い世代は個人で行動される方が増えている感じがします。

(事業課)

優秀な人材を確保するためでもあります。

(構成員)

それも書き添えた方がよい。

(事業課)

単に贅沢なのではなく、そういう目的があるからやる、というのを書くということですね。

(座長)

他に、何かありますか。よろしいでしょうか。

蛇足かもしれませんが、今使われている古い建物の件で、少し話がありましたが、修繕できる所はした方がいいのかなというのがあります。特に出口のひさしですね。あれが落下すると出られなくなるので、緊急性が高いと思います。そこは別途ご検討いただけたらと思います。

ありがとうございました。委員の皆様から様々なご意見をいただきました。ここで1つ、委員の皆様を確認しておきたいと思いますが、基本的に当該事業をこの計画で進めていくことに対してご異議はございますか。

(異議なし)

賛成ということで確認しました。ありがとうございました。それでは当該事業につきましては、この計画どおりに進めていくということで決したいと思います。その前提で検討会議としての意見を整理していきたいと思っております。

何点かありますが、大きなところで3点、細かなところで2点です。

第1点目は、現状の老朽化した設備にかんがみまして、緊急性の高い社会的インフラであるということでありますので、その機能強化は当然図るべきものと考えているということでございます。その際には、周辺施設との関連性を考えながら、周辺の整備も考えていくべきである。特に敷地の余裕を十分考慮していくべきだと。

2点目としましては、将来の社会変化、緊急的な対応、こういったことを考えますと、余裕のある設計をお願いしたい。その時に柔軟な発想を根底に置きながら、設計デザインを進めていただきたい。

3点目としまして今日議論がございましたが、様々な観点から議論をした結果、今回の件につきまして合築は不要ということです。消防機能の強化に努めていただければということでございます。

細かいところでは、4点目ですが、職員の駐車場ですね。緊急性その他ありますので、消防隊員がスムーズに動けるように設計等を考慮していただきたい。

最後は書類の電子化を進めていただきたいということでございます。そのための設備の整備、施設の整備、こういったものを進めていただければということでございます。以上5点でございます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

はい。それではただ今のご意見を公共事業評価に関する検討会議の意見としたいと思います。ありがとうございます。なお、具体的な記載内容につきましては、座長である私がお預かりいたしまして、事務局と調整させていただきます。それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは本日の会議資料及び議事録につきましては、後日市のホームページに掲載することになります。議事録につきましては、私と事務局で調整をさせていただきたいと思っております。それでは今後の予定につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局)

ただいま、委員の皆様からご了承をいただきましたので、八幡西消防署移転新築事業につきましては、現計画のとおり、ご意見も踏まえまして進めさせていただきたいと思っております。今後の予定としましては、今回の検討会議の意見を踏まえまして、市が対応方針案を決定しまして、パブリックコメントの手続きに入らせていただきたいと思います。

(座長)

それでは、北九州市公共事業評価に関する検討会議を終了したいと思います。皆様お疲れ様でした。